

浜岡原子力発電所 1号機および2号機の廃止措置に伴うゲートモニタの設置について

2012年2月20日

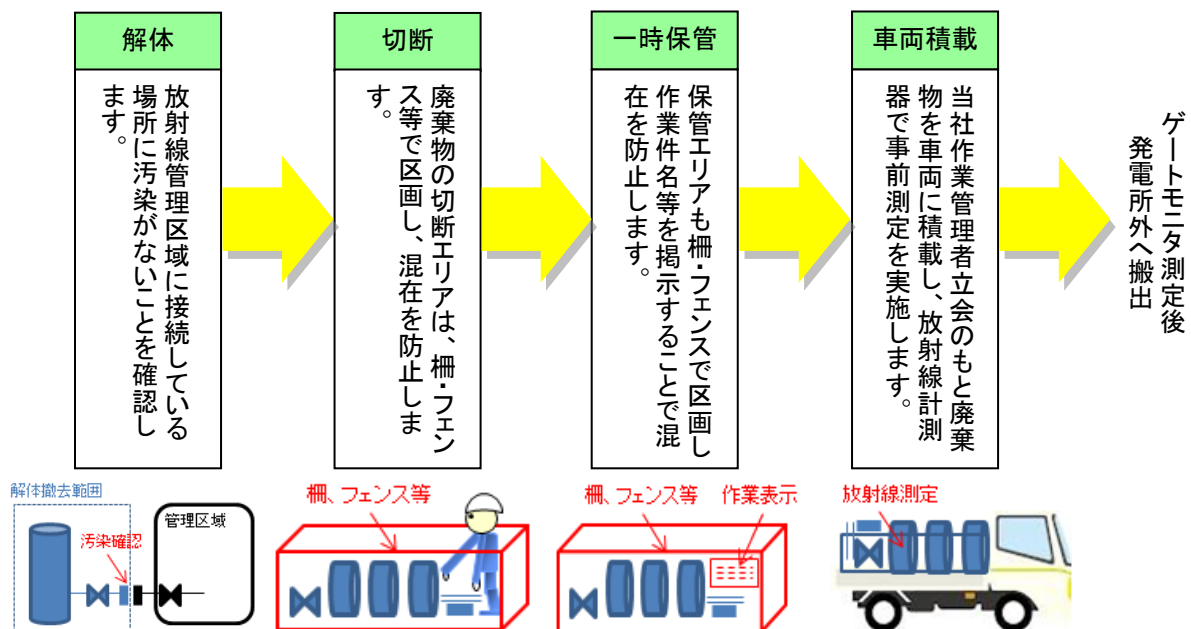
当社は、2009年1月30日に運転を終了した浜岡原子力発電所1号機および2号機について、廃止措置計画に基づき、放射線管理区域外の設備・機器の解体工事を進めており、2012年度上期より解体工事で発生した廃棄物を発電所外へ搬出することを計画しています。

廃棄物の搬出に先立ち、放射性廃棄物が混在していないことを厳格に管理することを目的に、発電所正門に放射線モニタ(以下、「ゲートモニタ」という。)を設置することとしましたので、お知らせします。

搬出においては、廃棄物を車両積載後、放射線計測器で事前に放射線量を測定し、放射性廃棄物が混在していないことを確認します。さらに、発電所正門に設置するゲートモニタにて、発電所外へ搬出する直前にも放射線量を測定します。ゲートモニタによる測定は、第三者機関立会のもとにおこない、測定結果の妥当性を確認します。

1 廃棄物の管理

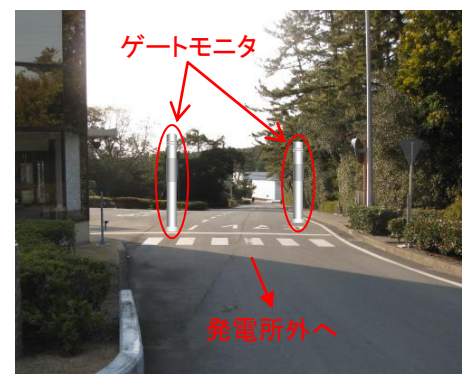
放射線管理区域外の設備・機器の解体工事で発生する廃棄物については、解体から発電所外へ搬出するまでの間、放射性廃棄物が誤って混在しないよう、以下のとおり厳格に管理します。



2 ゲートモニタ設置スケジュール

	2011年度		2012年度	
	2月	3月	4月	5月
放射線管理区域外の設備・機器の解体工事※	■■■■			
ゲートモニタの設置工事・廃棄物搬出準備		■■■■		

※2011年度に実施している放射線管理区域外の設備・機器の解体工事期間を示します。



発電所正門へのゲートモニタ設置イメージ

以上